

# 1. 大分市 の交通の現状把握

## 1.1 人口

### 1.1.1 人口の推移

大分県の人口は減少しているが、大分市は増加傾向にあり、39年間（S40～H16）で約2倍（約21万人）増加している。  
 大分市の人口は、10年間（H6～H16）で約5%（約2万人）増加している。

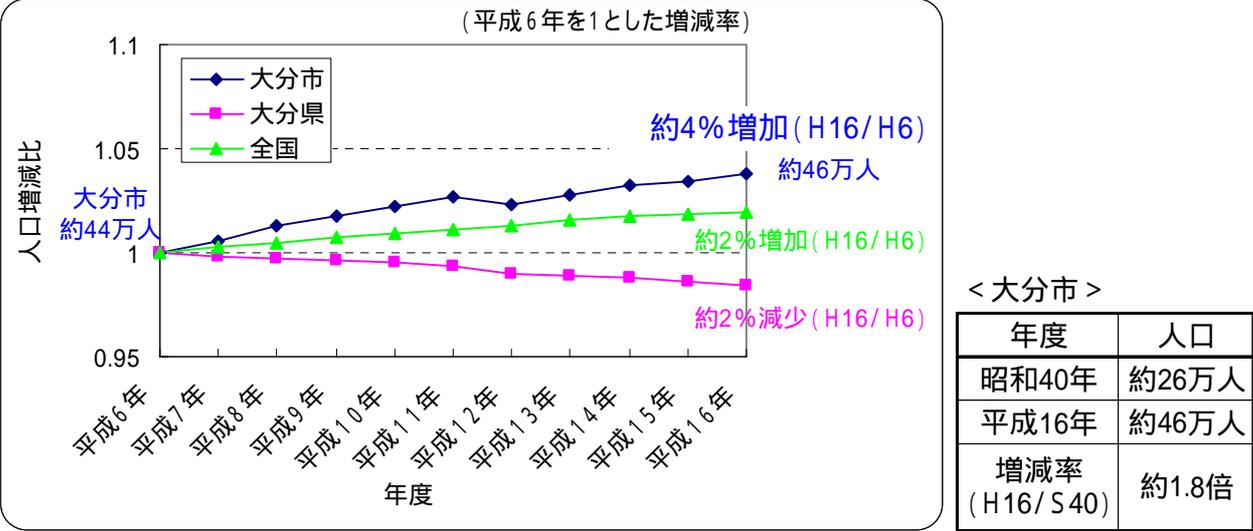


図1.1 過去10年間における人口の推移

(資料 大分県統計年鑑、住民基本台帳)

### 1.1.2 年齢構成

大分市の生産年齢人口は、10年間で約70%（H6）～68%（H16）と2ポイント（約30万人 - 約29万人 約1万人）減少している。  
 大分市の老年人口は、全国と比較して、3ポイント（19% - 16%）低い。

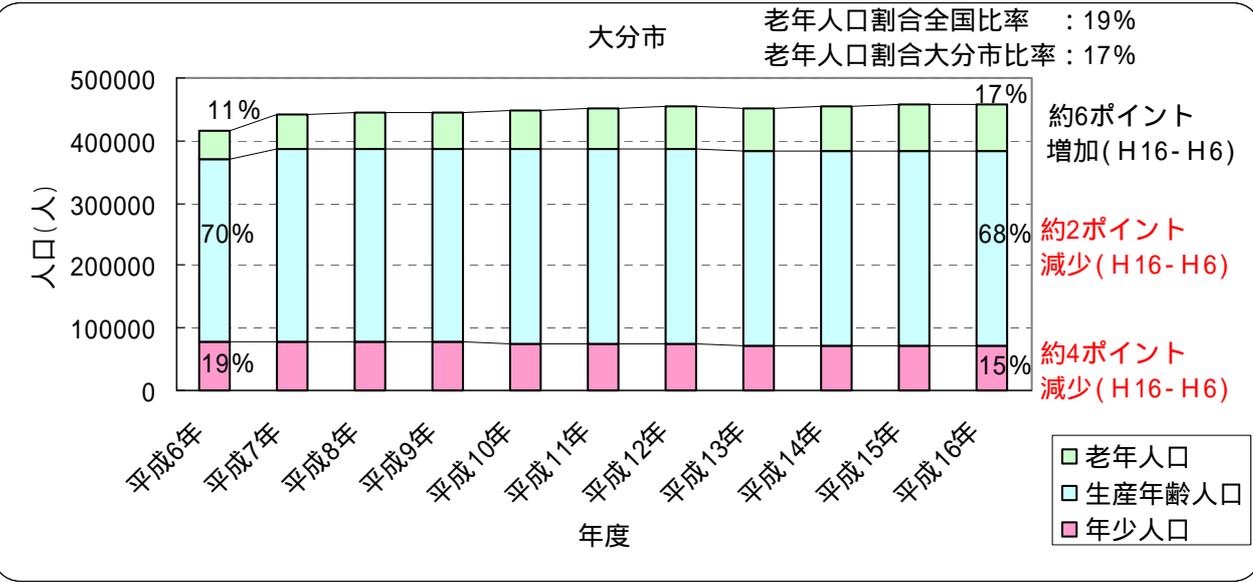


図1.2 年齢構成

(資料 大分県統計年鑑、住民基本台帳)

現状把握における大分市は、旧大分市で整理している。

### 1.1.3 昼間人口

大分駅周辺部と高城駅北側に、昼間人口(2,500以上/25ha)が集中している。

注) 大分市北側の臨港部(西ノ洲)のメッシュデータ不足

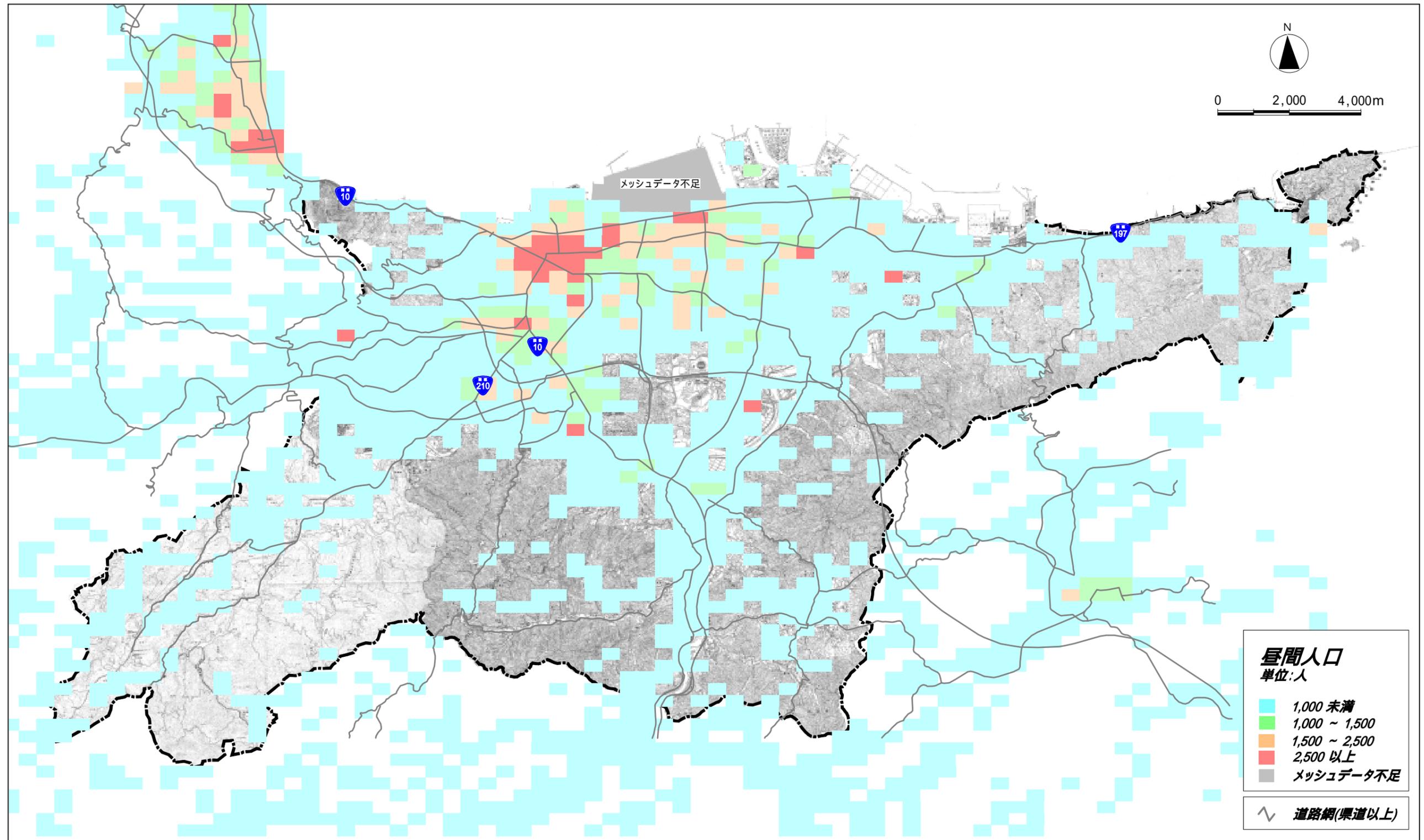


図1.3 昼間人口  
(資料 H12 国勢調査)

## 1.2 産業

### 1.2.1 産業別就業者人口

大分市は、第三次産業が主産業（全就業者の約7割）となっている。  
 総就業者人口は、10年間(H3～H13)で約1割増加（約22万人 - 約20万人 約2万人）している。

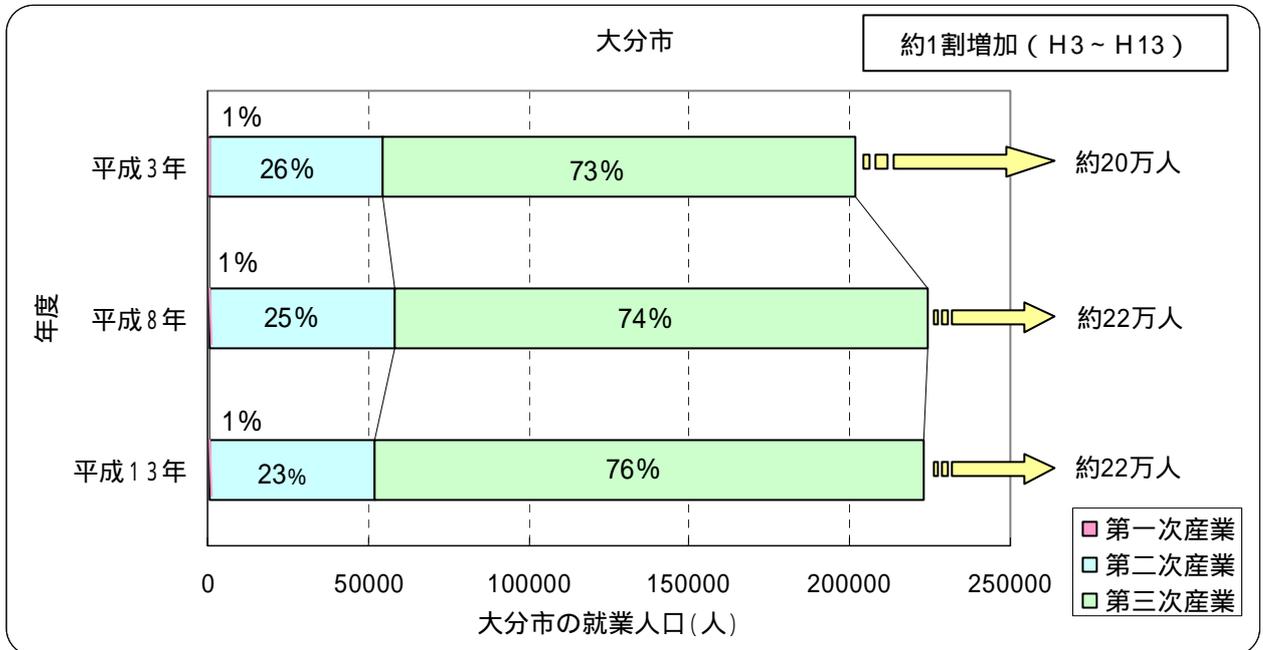


図1.4 各産業別の就業者人口の割合

（資料 事業所・企業統計調査）

### 1.2.2 自動車保有台数

大分市の自動車保有台数は、10年間(H6～H16)で約5万台（約34万台 - 約29万台）増加している。

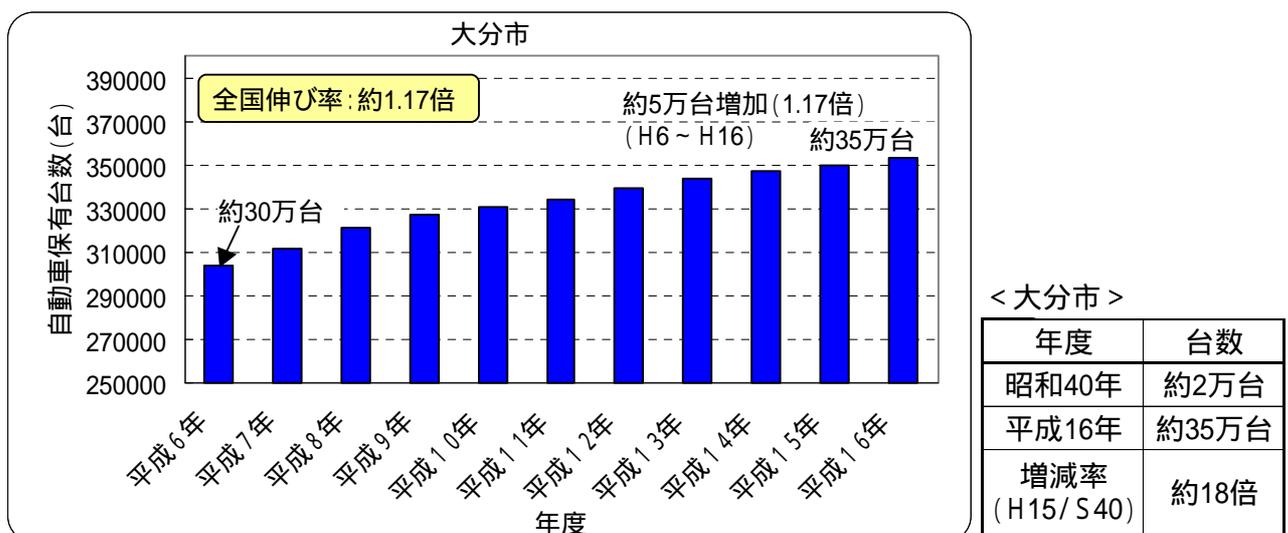


図1.5 自動車保有台数の推移

（資料 大分県統計年鑑、自動車検査登録協力会）

### 1.3 交通

#### 1.3.1 大分市内への通勤・通学者の現状

大分市に通勤・通学する人の約9割は、大分市内から通勤・通学している。  
大分市内々での通勤・通学者のうち、約6割がマイカー利用となっている。

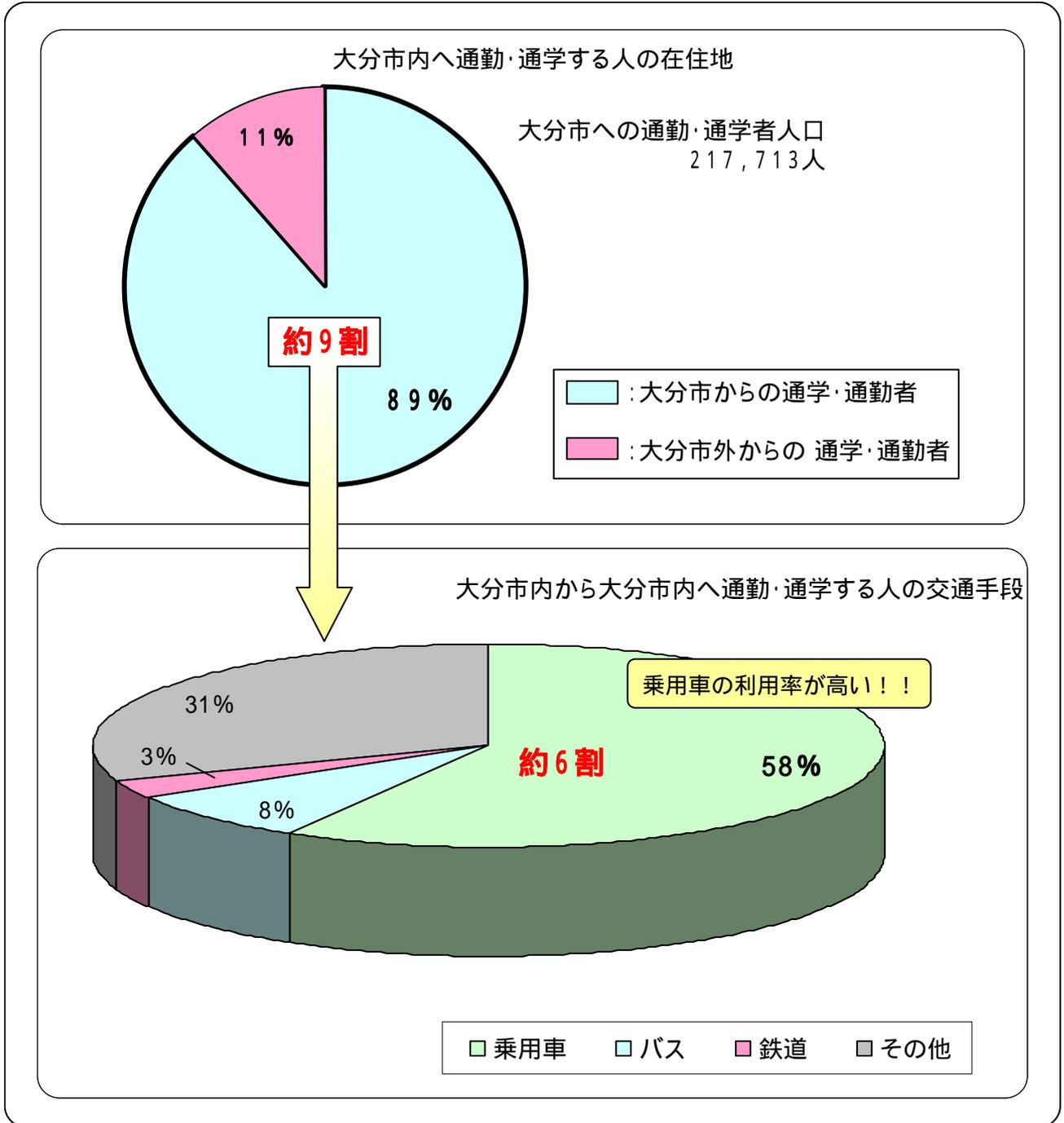


図1.6 大分市内への通勤・通学者の現状（資料 H12 国勢調査）

### 1.3.2 公共交通の利用者状況

#### (1) 鉄道利用状況

大分市の鉄道利用者は、7年間(H8～H15)で約5%減少しており、現在約2,048万人/年である。  
大分市の鉄道利用者は、38年間(S40～H15)で約4%(H15/S40)程度の増となっている。

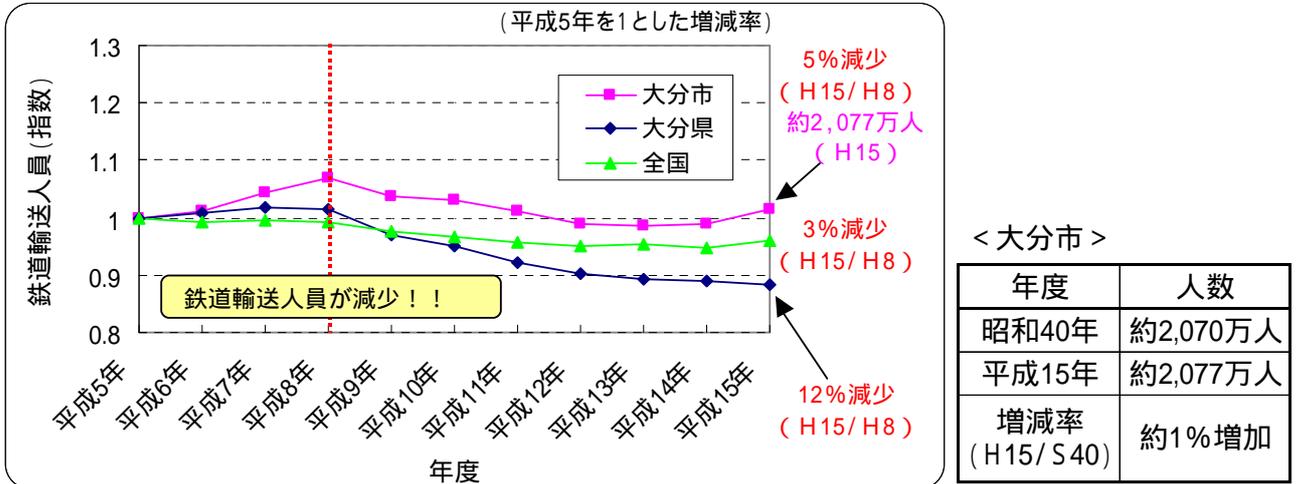


図1.7 鉄道輸送人員の推移

(資料 運輸局、大分県統計年鑑、鉄道輸送統計調査)

#### (2) バス利用状況

大分県内のバス利用者は、10年間(H5～H15)で約4割(約1,451万人)減少しており、現在約2,332万人/年である。  
大分県内のバス利用者は、38年間(S40～H15)で約74%(H15/S40)減少している。

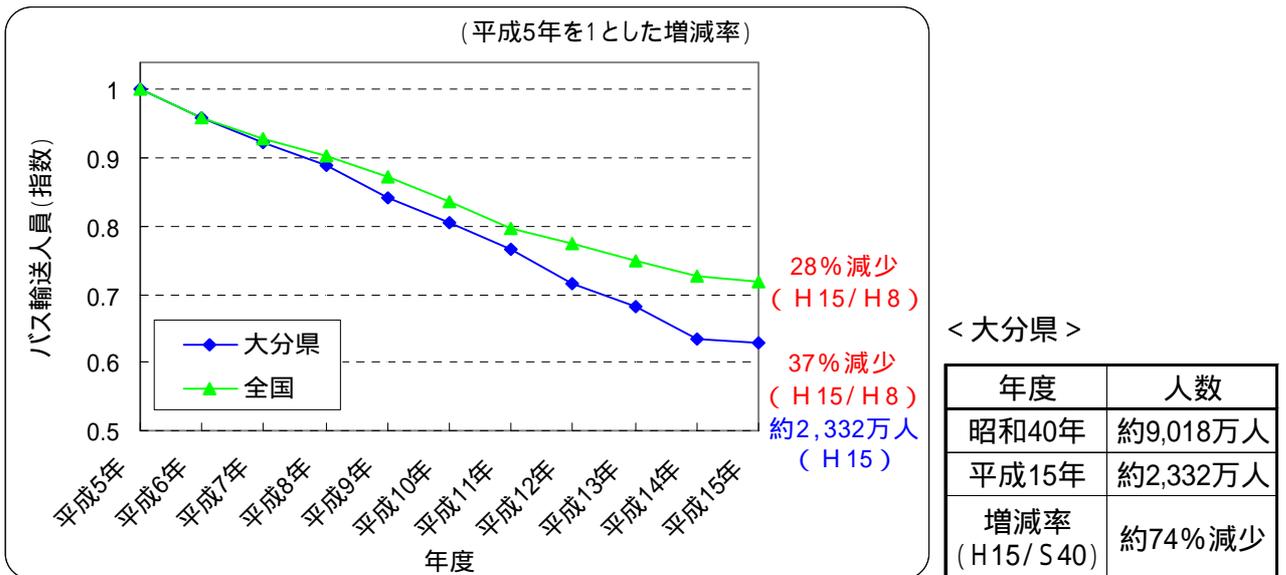


図1.8 バス輸送人員の推移

(資料 運輸局、大分県統計年鑑、自動車輸送統計調査)

1.3.3 交通体系の状況

(1) 鉄道網および道路網

日豊本線が東西方向に、豊肥本線が大分駅から南方向、久大本線が大分駅から南西方向に伸びている。  
大分駅を中心に4車線以上の道路が放射状に整備されている。

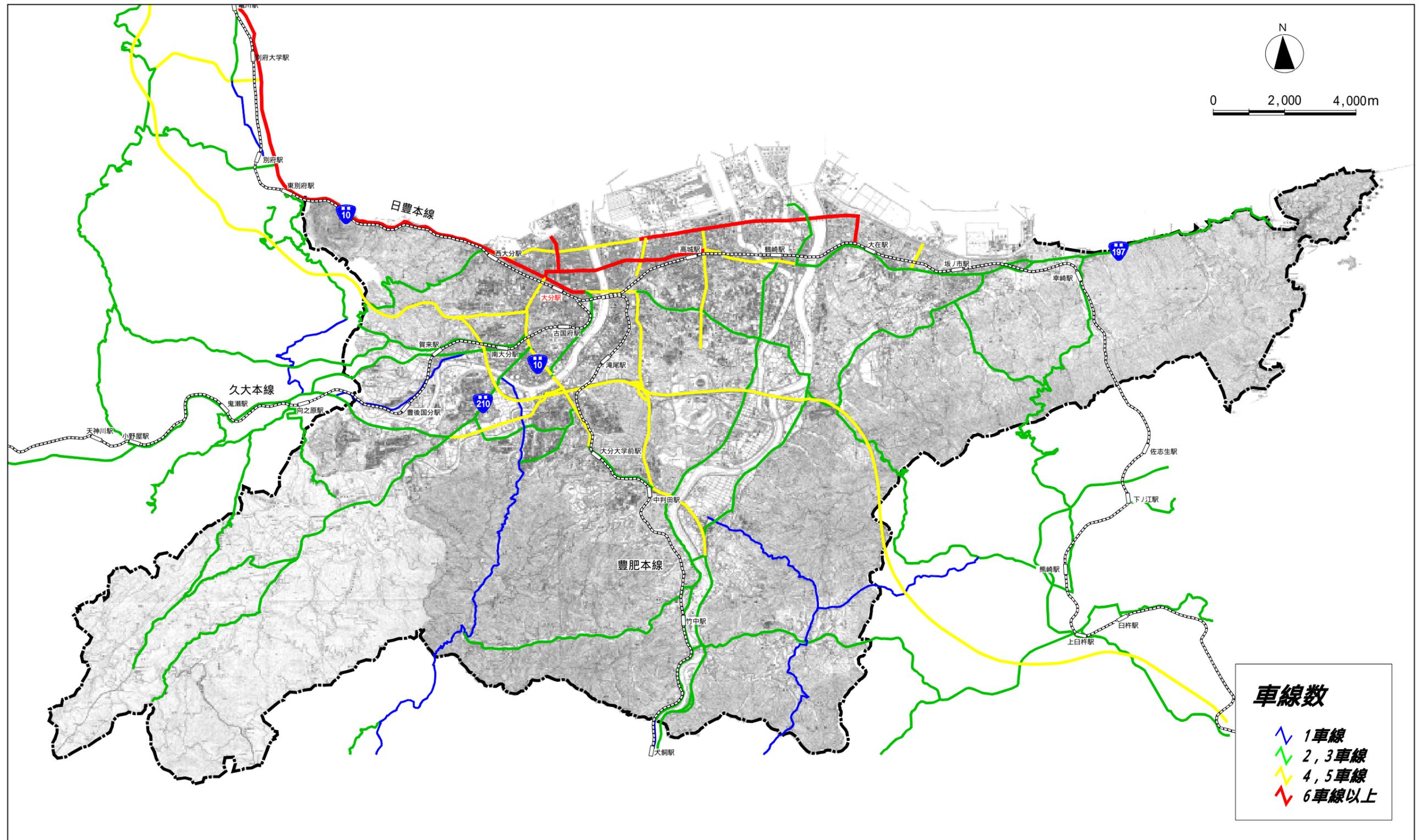


図1.9 鉄道網および道路網  
(資料 H11 道路交通センサス、H17.9 現地踏査結果)

(2) 道路のピーク時旅行速度

大分駅周辺など昼間人口の多いエリアの道路は、20km/h以下と旅行速度が低下している。  
郊外から昼間人口の多いエリア間の道路上に、渋滞ポイントが位置している。

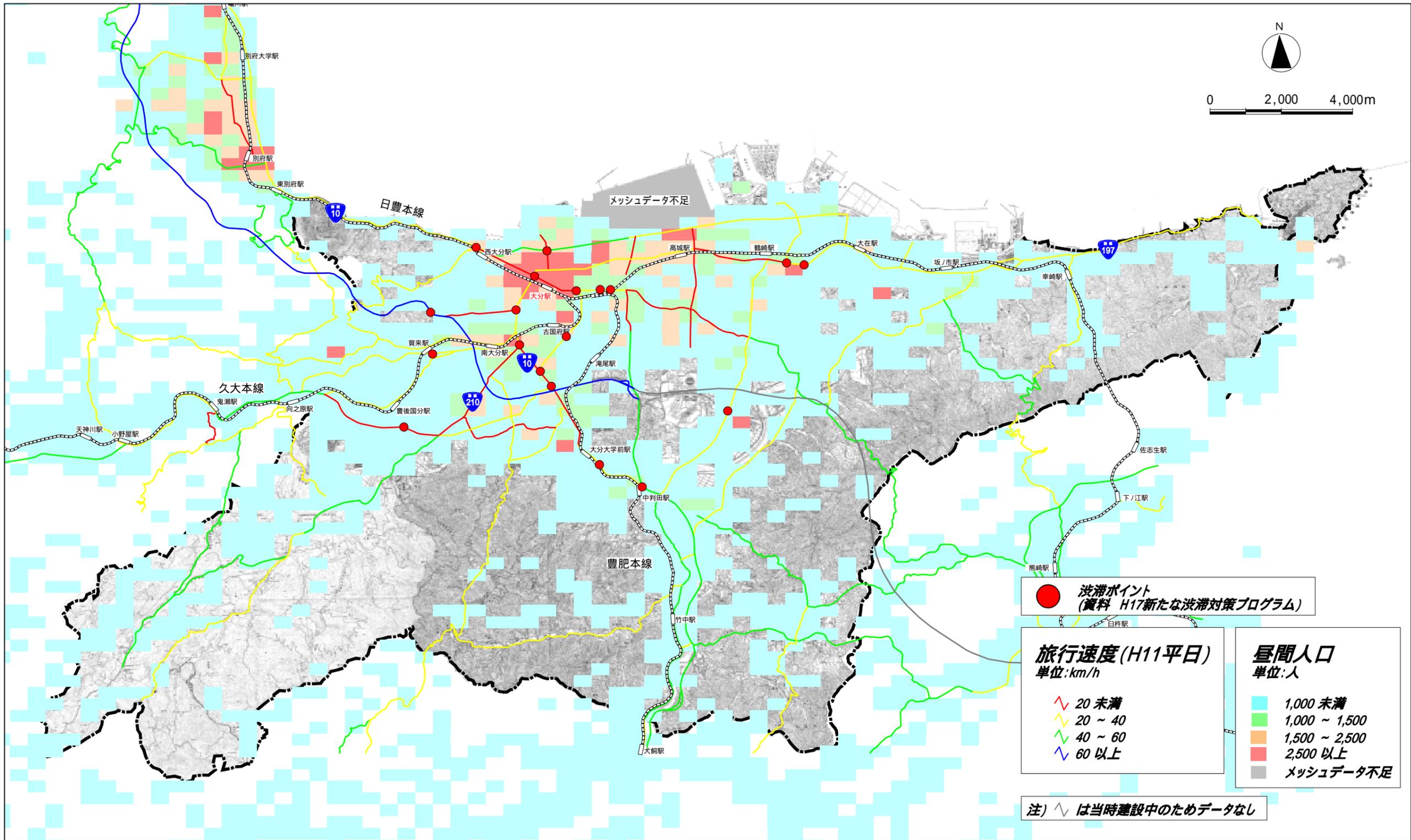


図1.10 道路のピーク時旅行速度  
(資料 旅行速度：H11 道路交通センサス 昼間人口：H12 国勢調査)